

旭労災病院ニュース

病院情報誌 第46号 平成21年9月1日発行

発行所：旭労災病院

〒488-8885

尾張旭市平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.rofuku.go.jp/>

発達支援外来について

小児科部長 安藤 郁子



この4月から開設しました発達支援外来は、8月20日現在で相談件数40件、その中で発達知能テストを行い診断した件数は37件になりました。

相談内容は、言葉の遅れ、落ち着きがない、友人と上手く係われない、すぐかんしゃくをおこすなど様々で、年齢的には就園前後の3～4歳が一番多く、なかには小学校3年生くらいからいろいろな問題行動を起し相談に見える方も増えてきました。親御さんが対応に困って受診される方もいますが、中には、保育士や学校の先生に指摘されて受診される方もいます。これらの発達に問題のあるお子さんに対し、私達の外来で出来ることは、発達障害(広汎性発達障害、注意欠陥多動症、学習障害や精神遅滞)の有無、程度を診断し、その情報をその子を取り巻く大人、つまり親、保育士、先生などと共有し支援していくことだと思っています。そのため、7月30日に尾張旭市のこども課や健康課の保健師や保育士を集めて連携会議を開き、その中で事例検討も行って子供とその家族を支援するためにはどうしたらいいか活発な討議が行われました。また尾張旭以外の方には個別に親御さんの許可を得て保育士や保健師と連携することも行っています。最近では瀬戸尾張旭以外にも名古屋市、春日井市などいろいろな地域からの相談件数も増えてきて、そろそろ予約が希望通りに入らなくなってきましたが、大体1ヶ月以内で相談に来て頂けるようがんばっています。

先生方の外来などで相談を受けられた場合はご紹介下さい。

発達相談外来 毎週火曜日、午後2時から

初診1時間・再診30分

発達知能テスト 毎週木曜日 午前9時から・午後1時から

すべて電話予約制

(水曜日を除く平日午後2時～4時まで小児科外来にお電話ください)

性感染症 診断治療ガイドライン2008について

泌尿器科部長 松原 廣



日本性感染症学会から2008年11月に性感染症 診断治療ガイドラインが発行されました。その中から淋菌、性器クラミジアの治療について要点をお知らせします。

1 淋菌

抗菌薬への耐性が進み、現在効果が期待されるのはスペクチノマイシン（トロビシン）セフォジジム（ケニセフ、ノイセフ）、セフトリアキソン（ロセフィン）の注射薬のみです。淋菌は同時にクラミジアを感染することが20～30%に認められ、クラミジアの診断治療を同時に行うことが重要です。

2 性器クラミジア

世界的に最多の性感染症であり、無症状が多いため、無症候性の感染者を発見することが重要です。（治療薬は下記参照）

性感染症の治療で大事なことは、特殊な疾患ではなく、身近にある疾患であると患者様にご認識していただき、再感染をしないようご指導していただくことと存じます。

